

練習 5 (総合問題)

先輩のしくじりから学ぶ



下の文章は、大学生のしくじり先輩 N くんの高校時代の進路選択を振り返った文章です。読んで、次のページの問いにとりくみましょう。

※一部の情報が、現在とは異なる可能性がありますので注意してください

N です。雪国出身です。今は大学 2 年生です。進路についてお話したいことがあります。幼い頃から、親からは大学に行ってほしいと、期待されていました。両親ともに高卒で、大学へのあこがれがありました。また、裕福な家庭ではなかったため、国公立の大学を期待されていました。僕の田舎には大学がありません。まわりに大学生もいません。大学を卒業したのは先生とおばさんだけでした。大学はレジャーランドだと信じていました。つまり、大学に行けば勉強せずに自由にバイトし、遊べると考えていました。

一人暮らしの生活も楽しみにしていました。というのも中学生のころから、家具や住居に興味があったからです。そこで、建築に興味を持ち、高校受験で地元の高専の建築学科に進もうと思いました。両親に相談したところ、若いうちに可能性を狭めるなどアドバイスされました。その当時は親の言うことだからと疑いもせず納得をし、普通科の高校に進みました。しかし、この選択が最初のしくじりだったかもしれません。

高校に入って、苦手科目がいくつかできました。その中でも物理は好きなのに、テストは赤点ばかり。できない理由がわからず、苦手意識が芽生えました。文理選択は理系に進み、理科は生物・化学を選択しました。しかし、生物・化学の選択だと、ほとんどの大学で工学部建築学科に入れないことを知りました。選んでしまったものは仕方がない。建築への道を諦めました。そのころニュースで頻繁に流れていたバイオテクノロジーや環境問題に関心が高まっていたので、理学部や農学部で研究するのも悪くないと思いました。部活の忙しい合間を縫って、夏休みに大学見学にも行きました。学内をぶらぶら散歩し、雰囲気はつかめました。だけど、教授や先輩の話は聞けず、学部や研究についての理解は深められませんでした。

その後は部活と勉強の両立に忙しく、進路について真剣に考える時間がありませんでした。部活の引退後、必死に勉強したおかげで、成績が急上昇、センター試験での成績は予想をはるかに超え、高いレベルの大学を受けることになりました。そして、O 大学理学部生物学科と H 大学農学部を受験。それぞれの大学の学部学科に行ったら何ができるかなんて考える余裕もなく、受験科目と合格可能性だけで決めました。

結果、H 大学に入学。気分はサイエンティストの卵でした。とくに「実験」の授業を楽しみにしていました。高校時代はほとんどなかったからです。しかし、いざ実験をやってみると、地道な作業がすごく苦痛でした。先生からも「研究者に向いてないね」なんてポロツと言。そんな自分の性格を把握していませんでした。実験とは何かのイメージも持たずに、なんとなく研究者、カッコいいなと思っていただけだったのです。

そこから、勉強へのモチベーションがなくなりました。当然、成績もひどいものに。いっぽうで、興味本位で高校時代に好きだった物理を選択科目で一念発起してとったところ、すごく楽しいし、テストも成績がよかったです。もしかしら、理論的なことが好きだったのかも。高校時代に物理が嫌いになったのは、先生との相性のせい？高校時代に物理をとってれば、と悩みと後悔は深まるいっぽう。

H 大学農学部では学科選択は 2 年次。興味のあるコースの情報収集もそれなりにしました。先輩に相談し、ゼミにも顔を出しました。少しは興味を持ってそうで、実験が少なく、遺伝子に少し触れられそうな学科を志望しました。しかし、成績が足りず、遺伝子とほとんど関係のない「農業経済学科」に進むことになりました。いつのまにか文転してしまっということに。環境問題には関係があって、少しは興味を持ってそうだけどこれでいいのかなあ。こんな決め方を続けていったら、自分はこの先、どうなるのだろう。

「先輩のしくじり」について考える

Q1：左の文章を読み、しくじり先輩の中学から大学の間、どのような決める機会（分岐点）がありましたか？

Q2：Q1から分岐点を1つ選び○をつけ、下の決め方のポイントのうち、どこで、どんなしくじりをしたかを考えて下の枠内に書こう。

分岐点 ▶

▶ ○をつける	選択肢を創る	判断基準を探す	選択肢の評価	評価を実際に確認する	決め方
<p><u>どんなしくじりをした？</u></p>					

Q3：しくじり先輩に対する、できるだけ具体的なアドバイスを一言で考えてみてください。

Q4：あなたが先輩のしくじりから学べることはなんだろう？
